

具体的な事例から学ぶ

No. 16

発行：山口県教育委員会

令和4年8月29日

～考えよう！自分のこととして～

1 テーマ

「学校における個人情報の適切な管理について」

学校には、児童生徒の成績や家庭環境に関する情報など、取扱いに注意を要する個人情報が数多くあります。個人情報の流出や関係資料の紛失等が発生した場合、児童生徒・保護者への被害のみならず、学校や教職員への信頼にも影響を及ぼす重大な問題となります。先日、個人情報が記載された資料が入ったカバンを紛失した他県の公務員の事案が報道されました。改めて、個人情報を取り扱う際の留意事項等について確認しておきましょう。

2 事例 ※実際に他県で発生した事例で問題点を考えてみましょう。

事例①

教諭Aは、生徒の家庭訪問をするために自家用車で移動中、コンビニエンスストアに立ち寄った際、車内に置いていたカバンを盗難された。カバンに入れていた資料には、担任しているクラス（生徒20名分）の氏名、学年、出席番号、住所などが記載されていたが、教諭Aは、個人情報を含む資料の校外への持ち出しについて、必要な届け出をしていなかった。

事例②

教諭Bは、自宅で作業するため、管理職の許可を得ないまま、普段校内で使用しているUSBメモリを自宅に持ち帰った。自宅で作業した翌日、学校でUSBを使用しようとしたところ、USBの紛失に気づき、自宅や校内を探したが見つからなかったため、5日後に管理職に報告した。USBには、教諭Bが担当する2クラス（児童65名分）の氏名、生年月日、学力の状況や運動能力等が記載された資料のほか、児童の学校生活の様子を撮影した写真95点など、現在は使用しない過去のデータも保存されていた。

3 個人情報の管理に関する自身の意識や行動をチェックしてみましょう☑

▼個人情報を含む電子媒体や資料等を校外等に持ち出す場合に…

- 管理責任者の許可を得ないまま持ち出していませんか。
- 個人所有のUSBメモリ等に生徒情報が保存されたままになっていませんか。（使用後はデータを確実に消去していますか。）
- 個人情報を含む書類等を持ったまま買い物や会食等に行っていませんか。

▼その他にも…

- 個人情報が含まれている書類等（家庭状況調査票、テスト、通知表等）を机の上に置いたまま離席していませんか。
- 生徒や保護者の個人情報に関係する会話を学校外で行っていませんか。

4 参考

USBメモリには必ずパスワードを設定しましょう。（※以下は、Windows11/10 Pro版に標準搭載されている暗号化機能（BitLocker）等での設定方法）

<手順>

- ① USBメモリをパソコンに接続し、エクスプローラーを起動します。
- ② 左メニューの「PC」を選択し、USBドライブを右クリックします。
- ③ 「BitLockerを有効にする」をクリックします。
- ④ ドライブをロックするための「パスワード」を設定し、「次へ」をクリックします。
- ⑤ 「回復キー」のバックアップ方法を選択し、「次へ」をクリックします。
- ⑥ USBの暗号化する範囲を選択し、「次へ」をクリックします。
- ⑦ 「暗号化の開始」をクリックします。⇒ USBメモリのパスワード設定が完了。